

商店会の存在意義

(社会的結節点としての存在意義)

(セーフティーネット)

利便の提供
利益の追求

何でも揃う
ワンストップ
日用品
生鮮食料品
冠婚葬祭
学校関係

相互扶助的な
存在

共同チラシ広告
同時セール
キャンペーン
イベント協力

地域の活性化

祭りへの参加・寄付
社寺への寄付
イベント実施
文化・伝統の継承
自治会活動への
積極的な参加

安心な場所

つけ払い
無料配達
子供の成長や高齢者
などニーズに合った
個別対応
売買以外の居場所

安全な場所

子ども110番の家
駆け込み寺的存在
街路灯の設置・管理
地域パトロール

社会情勢変化

- ・ライフスタイルの変化（住環境、家族構成、ネット決済、大型量販店のシェア拡大・・・）
- ・マイカー社会の成熟
- ・人口減少と少子高齢化
- ・規制緩和、競争力激化、生産性向上による薄利多売構造
- ・安心安全についての有料事業者の出現

疲弊する商店会

- ・商売の売り上げの減少
- ・店舗改装等の設備投資へのためらい
- ・後継者不足、事業承継困難化、スタートアップ企業等新規参入しにくい領域
- ・店主の高齢化、都市部への一極集中化

一般的改善方策

- ・商店会役員が主体ではなく、地域団体や個人が主体的にイベントを企画・運営し、関係する商売人にも利益が得られる仕組みづくり
- ・女性や若者世代が関わる、関わりやすい商店会と雰囲気づくり
- ・地域団体、組織などの中で効率的に商店会が存続できるような仕組みと行政指導・援助
- ・安心して後継者や新規参入者が入って生涯にわたって生活できる仕組みづくり（農業法人のような商店会丸ごと法人化・・・）